

- 18:30 ~ 18:45 開会、開会挨拶
 18:45 ~ 19:30 環境影響評価方法書の概要
 ・環境影響評価手続きの概要
 ・事業計画の概要
 ・対象事業実施区域及びその周囲の状況
 ・環境影響評価の項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要
 19:30 ~ 19:40 休憩
 19:40 ~ 20:25 ご質問への回答
 20:25 ~ 20:30 閉会挨拶、閉会

ご協力のお願い

-  **携帯電話**
 電源を切るかマナーモードに設定のうえ、会場内での通話をお控えください。
-  **録音・撮影・録画**
 報道関係者を除き、録音、写真及びビデオ撮影はご遠慮ください。
-  **危険物**
 会場内への危険物等の持ち込みは、ご遠慮ください。
-  **喫煙**
 会場内での喫煙は、ご遠慮ください。
-  **ご留意事項**
 他のお客様にご迷惑となるような発言や行動はお控えください。万一、進行に支障をきたすような場合には、退場をお願いすることもあります。

ご協力よろしくお願い致します。

-  **人との距離**
 受付は約2m間隔で、お並びください。
-  **マスクの着用**
 必ずマスクを着用ください。マスクのない方はお申し出ください。
-  **検温・手指の消毒**
 受付にて検温・手指の消毒をお願いします。
-  **出席票**
 新型コロナウイルス感染対策のために出席票ご記入をお願いします。
- ・発熱中(37.5℃以上)の方の参加はご遠慮ください。
 ・出席票・アンケートのご協力等、上記お願いのご協力が頂けない場合は、入室をお断りさせていただきます。

説明の内容に対するご質問について

- ◆本日は、静岡県環境影響評価条例で定められた説明会です。**方法書に関するご質問について伺うことを目的としております。**あらかじめご承知おき下さい。
- ◆説明の時間には制約があるため、僭越ではございますが、より**詳しく内容を確認されたい場合は、閲覧場所に設置されている方法書をご確認下さい。**
- ◆説明後に**質疑応答の時間を設定しております。**

(仮称) 函南太陽光発電事業に
係る環境影響評価方法書
説明会

2020年12月

Blue Capital Management

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

環境影響評価方法書の概要



01 環境影響評価手続きの概要

02 事業計画の概要

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況

04 環境影響評価項目の選定、
調査・予測、評価の手法の概要

環境影響評価方法書の概要



01 環境影響評価手続きの概要

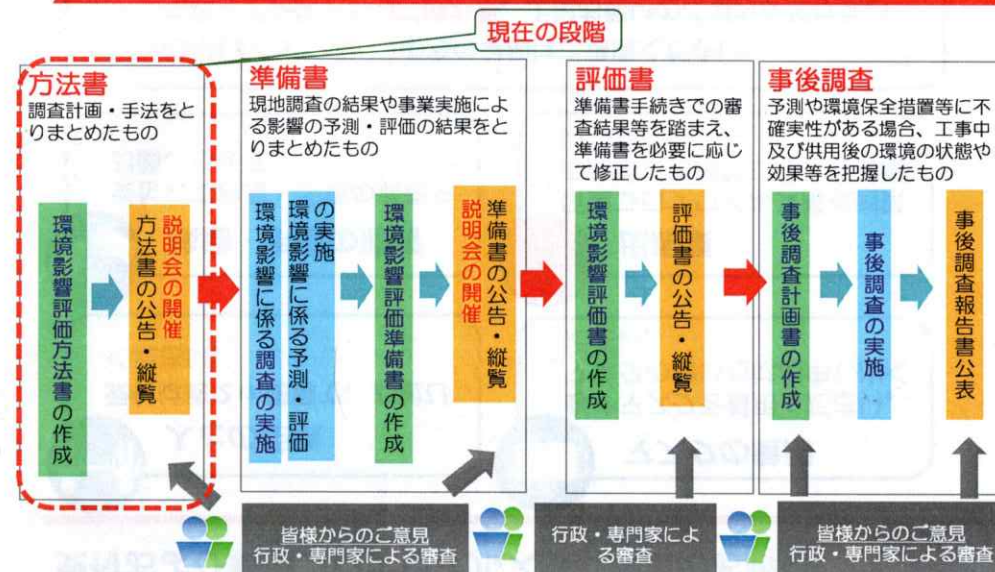
02 事業計画の概要

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況

04 環境影響評価項目の選定、
調査・予測、評価の手法の概要

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

01 静岡県条例に基づく環境影響評価の手続き概要



©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

01 環境影響評価手続きの概要

02 事業計画の概要

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要

●対象事業の概要

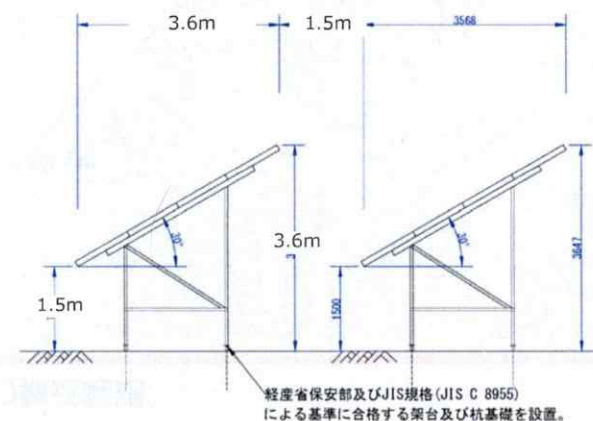
名 称	(仮称) 函南太陽光発電事業
事 業 の 種 類	太陽光発電所の設置
出 力	最大29,800kW (交流)
対 象 事 業 実 施 区 域 の 積	約65.3 ha
所 在 地	静岡県田方郡函南町軽井沢
工 事 開 始 期	令和4年8月 (予定)
運 転 開 始 期	令和5年12月 (予定)

●対象事業実施区域



●ソーラーパネルの概要及び設置イメージ

項 目	諸 元
定格出力 (1基あたり)	最大415W
ソーラーパネル枚数	98,237枚



●主な工事概要

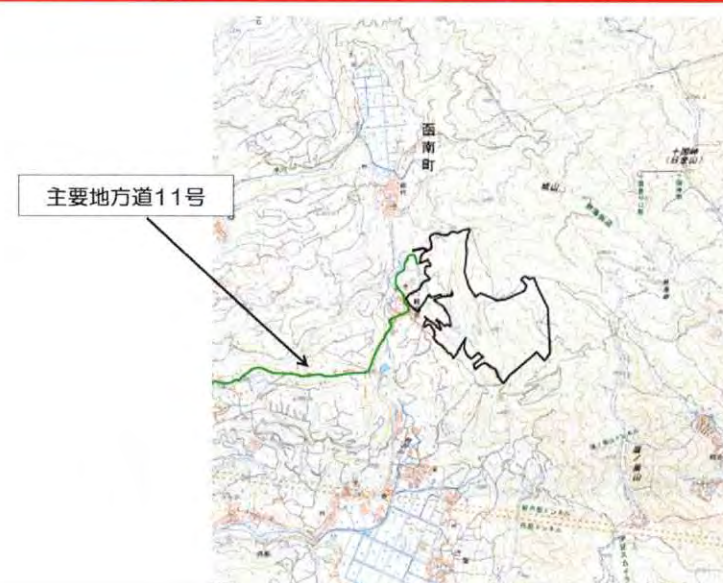


主な工事		工事概要
造成基礎工事	伐採工事	発電施設、変電所、防災調整池及び管理道路等の設置用地の樹木を伐採する。
	工事用道路工事	仮設道路及び管理道路の新設により工事用道路を整備する。
	発電施設敷地造成工事	発電施設等敷地の造成を行う。
据付工事	架台据付工事	十分な作業空間及び排水が確保された領域より杭打ち工事及び架台組立工事を実施する。
	パネル据付工事	クレーンにより、ソーラーパネルを取付ける。
電気工事	変電所工事	系統連系のための変電施設及び発電電力の変電所工事（基礎、機器据付、電気工事）を行う。
	ケーブル工事	ソーラーパネル及び変電所等を接続するケーブル工事（ケーブル敷設、接続等）を行う。

13

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

●資材等の輸送経路



14

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

●工事工程



工事工程（予定）

工事開始時期：令和4年8月

運転開始時期：令和5年12月

工事年	1 年目				2 年目			
経過月	3	6	9	12	15	18	21	24
造成・基礎工事等								
据付工事								
電気工事								
試験運転								
営業運転								

注：上記の工事工程は現時点における想定であり、今後変更される可能性がある。

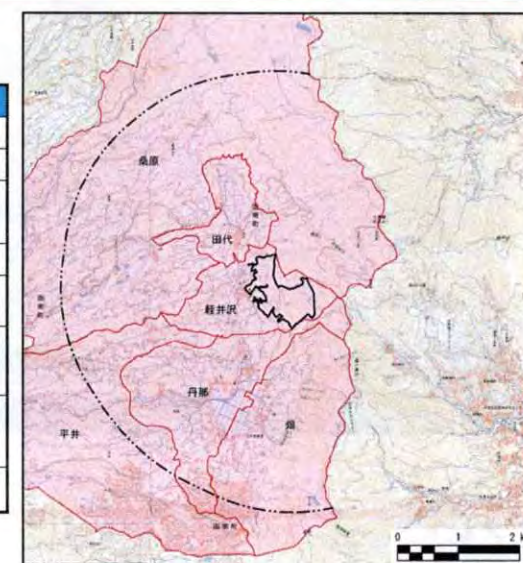
15

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

●関係地域の範囲



評価項目	影響が想定される範囲
騒音	200m程度
水質	200m程度
地形及び地質	対象事業実施区域の周囲数百m
土地の安定性	200m程度
反射光	函南町側1000m
植物、動物、生態系	300m程度
景観	一般的には1000m、伊豆スカイラインがあるため、函南町側3000m程度
人と自然との触れ合い活動の場	対象事業実施区域内
廃棄物等	対象事業実施区域内



16

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

01 環境影響評価手続書の概要

02 事業計画の概要

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況

04 環境影響評価項目の選定、評価、予測、評価の手法の概要

環境要素 の区分	主な地域特性
大気環境	・網代アメダスにおける令和元年の年間降水量は2,073.0mm、年平均気温は16.9℃、年平均風速は2.7m/sである。 ・対象事業実施区域の近傍の一般環境大気測定局の「熱海総合庁舎」では、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質が環境基準を達成している。 ・対象事業実施区域及びその周囲における環境騒音、環境振動及び道路交通振動は公表された測定結果はない。 ・自動車騒音の面的評価結果では対象戸数すべてで昼夜間ともに環境基準値を下回っている。また、騒音測定地点においては、昼夜間ともに環境基準値を下回っている。 ・学校、医療機関、福祉施設等の配慮は対象事業実施区域の南側約0.9kmに丹那小学校及び丹那幼稚園がある。また、対象事業実施区域に隣接して住居地域が存在する。

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況

環境要素 の区分	主な地域特性
水環境	・対象事業実施区域の北西側には一級河川の函南冷川が、南西側には一級河川の柿沢川等が分布している。 ・河川の水質の状況として、平成30年度は対象事業実施区域に最寄りの地点として狩野川水系の来光川「大土肥橋」において生物化学的酸素要求量(BOD)及び健康項目の測定が実施されており、各項目とも環境基準を達成している。
その他の環境	・土壌の状況として、対象事業実施区域は主に黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌等からなっている。 ・地形の状況として、対象事業実施区域は中起伏火山地、山頂山腹平坦面等からなっている。 ・地質の状況として、対象事業実施区域は多賀火山(安山岩・玄武岩類)が分布している。

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況

環境要素 の区分	主な地域特性
その他の環境	・対象事業実施区域及びその周囲の重要な地形の状況として、「日本の地形レッドデータブック第2集」(日本の地形レッドデータブック作成委員会、平成14年)によると、「丹那盆地と丹那断層」及び「田代盆地、火雷神社の断層変位地形」が保存すべき地形として選定されており、「日本の典型地形」(国土交通省国土地理院HP、閲覧:令和2年2月)によると、「丹那盆地」及び「丹那断層」が典型地形として選定されている。また、「指定・登録文化財一覧」(函南町HP、閲覧:令和2年2月)によると、「火雷神社の断層」が天然記念物として選定されている。 ・対象事業実施区域には、山腹崩壊危険区域、土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所が分布している。

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況



環境要素 の区分	主な地域特性
動物 植物 生態系	・動物の重要な種は、哺乳類11種、鳥類44種、爬虫類6種、両生類8種、昆虫類36種、魚類23種及び底生動物18種の合計146種が確認されている。 ・植物の重要な種として40科75種が確認されている。 ・対象事業実施区域の環境類型としては、主にシイ・カシ二次林等の二次林、スギ・ヒノキ・サワラ植林等の植林地、ニシキウツギーノリウツギ群落等の草地・低木林といった樹林、草地環境から構成されている。 ・対象事業実施区域及びその周囲における重要な自然環境のままとりの場として、植生自然度9に該当する植生、自然公園、保安林町指定の天然記念物及び鳥獣保護区が分布している。

21

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況



環境要素 の区分	主な地域特性
景観 人と自然との 触れ合いの 活動の場	・対象事業実施区域及びその周囲は主に黒ボク土壌から形成されており、西側には淡色黒ボク土壌及び人工未熟土壌も分布している。 ・対象事業実施区域及びその周囲における主要な眺望点として、「十国峠展望台」、「伊豆スカイライン滝知山展望台」等の7地点が挙げられる。 ・対象事業実施区域及びその周囲における景観資源としては、火山群の「箱根火山群」、「多賀火山群」等の4点が存在する。 ・対象事業実施区域及びその周囲における人と自然との触れ合いの活動の場として、「火雷神社」、「酪農王国オラッチェ」等の12地点が挙げられる。

22

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況



環境要素 の区分	主な地域特性
廃棄物等	・平成30年度の一般廃棄物の総排出量は、函南町が15,091t、熱海市が23,621t、静岡県が1,205,161tとなっている。 ・対象事業実施区域から50kmの範囲に、産業廃棄物の中間処理施設が307施設、最終処分場は19施設存在している。
放射線の量	・対象事業実施区域の最寄りの測定局の「熱海総合庁舎」における令和元年度の空間線量率は、28.7nGy/hである。この空間線量率は自然放射線による変動範囲内(24.5~83.4nGy/h)である。

23

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

環境影響評価方法書の概要



01 環境影響評価手続きの概要

02 事業計画の概要

03 対象事業実施区域及びその周囲の状況

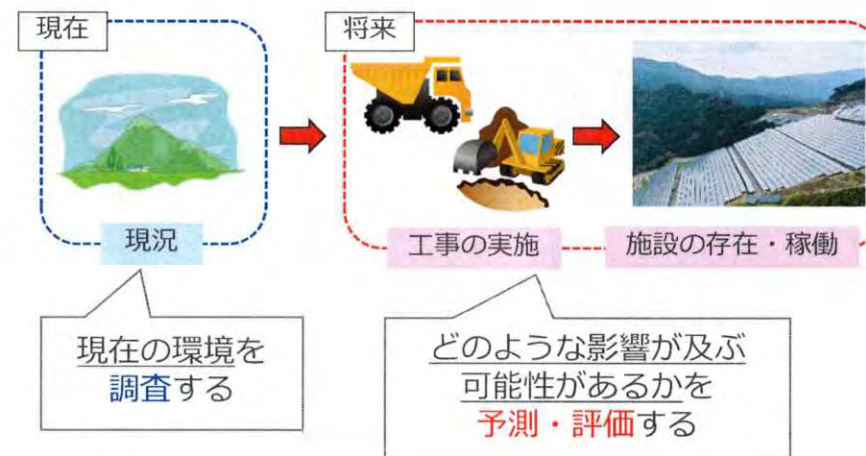
04 環境影響評価項目の選定、
調査・予測、評価の手法の概要

24

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

評価項目		影響要因の区分		工事に 資材等 の搬出 入	建設機 械の稼 働	造成等 の施工 による 一時的 な影響	地形改 変及び 施設の 存在	施設の 稼働
大気質	粉じん等			○	○			
騒音	騒音			○	○			○
振動	振動			○	○			
水質	水の濁り					○	○	
地形及び地質	重要な地形・地質						○	
地盤	土地の安定性						○	
その他	反射光						○	
植物	植物					○	○	
動物	植物					○	○	
生態系	地域を特徴づける生態系					○	○	
景観	主要な眺望点、景観資源、眺望景観						○	
人と自然との 触れ合い活動の場	主要な人と自然との触れ合い活動の場							
廃棄物等	産業廃棄物					○	○	
	残土					○		

環境影響評価における調査、予測・評価



環境影響評価の項目

以下の項目について、調査及び事業による影響の予測・評価



○大気質（粉じん等）

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



大気質の調査・予測について



道路沿道の大気質

工事関係車両の走行により発生する
粉じん等



建設工事による大気質

建設機械の稼働により発生する
粉じん等

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



大気質の調査・予測（工事車両）の内容

- ✓ 調査内容：対象道路の交通量及び風及び空気の汚れの現在の状況



- 調査項目：①対象道路の交通量
②風・降下ばいじん量（空気中の“ちり”）
なお、地域を代表する風・降下ばいじん測定
調査期間：①代表的な1日（平日、土曜日：24時間）
②4季各1か月（春季、夏季、秋季、冬季）

予測内容：工事関係車両からの粉じんによる影響

- ①現地調査結果（現状の空気の汚れ）

+



- ②一般車両＋工事関係車両の走行による増加分（予測値）



- ③将来（工事期間中）の環境を予測・評価を

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



大気質の調査・予測（建設工事）の内容

- ✓ 調査内容：風の状況及び空気の汚れの現在状況



- 調査項目：風向・風速、
降下ばいじん（空気中の“ちり”）
調査期間：4季各1か月（春季、夏季、秋季、冬季）

- ✓ 予測内容：建設工事中の粉じんによる影響



- ①現地調査結果（現状の空気の汚れ）

+

- ②建設工事による増加分（予測値）



- ③将来（工事期間中）の環境を予測・評価

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



大気質の調査地点



- <凡例>
- ：大気調査地点（降下ばいじん）
 - ：気象調査地点
 - ：交通量（騒音と同じ）
 - ：住宅等
 - ：工事関係車両の主要な走行ルート

大気質調査



○騒音、振動

騒音及び振動の調査・予測について



道路交通騒音・振動

工事関係車両の走行により発生する騒音・振動



建設工事による騒音

建設機械の稼働により発生する騒音



環境騒音・低周波音

パワーコンディショナー等の稼働により発生する騒音

道路交通騒音及び振動の調査・予測の内容

- ✓ 調査内容：道路沿いにおける騒音・振動・交通量の現在状況



調査期間：平日及び土曜の昼間（6～22時）に各1回

- ✓ 予測内容：工事車両の走行による騒音・振動



- ①現地調査結果（現状の騒音・振動の状況）
- +
- ②工事関係車両の走行による増加分（予測値）
- ↓
- ③将来（工事期間中）の環境を予測・評価

建設工事による騒音の調査・予測の内容

- ✓ 調査内容：自然環境における騒音の現在状況



調査期間：平日の昼間（6～22時）に1回

- ✓ 予測内容：建設工事中の騒音の影響



- ①現地調査結果（現状の騒音の状況）
- +
- ②建設工事による騒音の増加分（予測値）
- ↓
- ③将来（工事期間中）の環境を予測・評価

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



環境騒音の調査・予測の内容

- ✓ 調査内容：自然環境における騒音の現状状況



調査期間：平日の昼間（6～22時）に1回

- ✓ 予測内容：パワーコンディショナ等による騒音

①現地調査結果（現状の騒音の状況）

+

②パワーコンディショナ等による騒音増加分（予測）

↓

③将来（供用後）の環境を予測・評価



37

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



道路交通騒音及び振動の調査地点

<凡例>

- ：道路交通騒音・振動調査地点
- ：住宅等
- ：工事関係車両の主要な走行ルート

道路交通騒音・振動調査



道路交通騒音・振動：
工事関係車両の主要な走行ルート
沿い(1地点)で測定

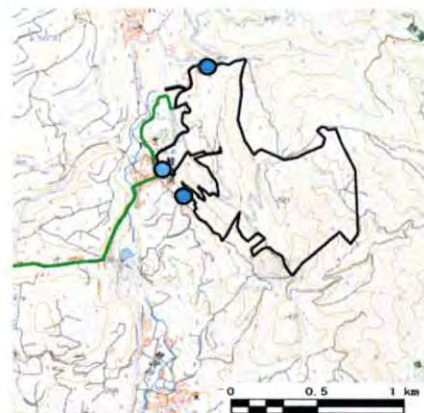
38

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



環境騒音の調査地点



<凡例>

- ：騒音調査地点
- ：住宅等
- ：工事関係車両の主要な走行ルート

環境騒音調査



環境騒音：
対象事業実施区域の民家側敷地境界(3地点)で測定

39

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



○水質

40

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

0 4 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



水質の調査・予測の内容

- ✓ 調査内容：水の濁りの現状



調査期間：4季（春季、夏季、秋季、冬季）
＋ 降雨時
調査項目：浮遊物質量・濁度（水の濁り）

- ✓ 予測内容：①工事実施中の降雨時における水の濁りの状況、
沈砂池からの排水が地面に浸透するまでの距離



※造成工事に当たっては、沈砂池などの濁水対策工事の先行実施等を検討し、降雨時における土砂の流出による濁水の発生を防止

②供用後において、土地の改変後の地表面の状況により、
雨水排水の濁り想定されることから調整池から排水される水の濁りを予測する。

41

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

0 4 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



水質の調査地点



<凡例>
●：水質調査地点
■：土壌調査地点

水質調査



対象事業実施区域及びその周囲の河川(3地点)で測定



42

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

0 4 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



○重要な地形・地質

0 4 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



重要な地形・地質の調査・予測の内容

- ✓調査内容：現地踏査



調査項目：重要な地形・地質の状況
調査期間：期間中に1回

- ✓予測内容：対象事業実施区域に重要な地形・地質が露出している場合は影響の回避・低減を図る。

43

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

44

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

○土地の安定性

土地の安定性の調査・予測の内容

✓調査内容：現地踏査



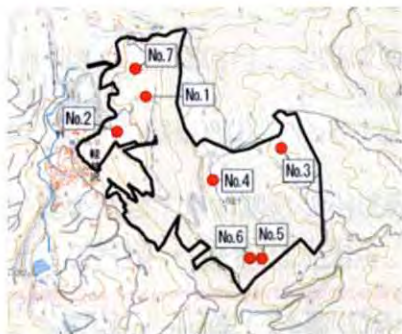
調査項目：盛土及び切土予定地及び対象事業実施
区域の地質を現況を把握するためのボー
リング調査を実施する。

調査期間：期間中に1回

- ✓予測内容：主要な切土・盛土実施箇所の土地の安定性の把握
✓するため、円弧滑りの安全率の計算を行い、基準値
✓と比較して評価する。

ボーリング調査の地点

調査地点	設定根拠
No. 1 No. 3 No. 4	・対象事業実施区域全体の地形及び地質 の状況を把握するための地点とした。
No. 2	・調整池 A-2 を設置する地点とした。
No. 5 No. 6	・調整池 B を設置する地点とした。
No. 7	・調整池 A-1 を設置する地点とした。



○反射光

04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



ソーラーパネルからの反射光の調査・予測の内容

✓調査内容：現地踏査



調査項目：土地利用や地形の状況、建物の配置
や窓の状況を把握

調査期間：期間中に1回

✓予測内容：太陽の高度・方位及び発電施設の高さ・傾斜角 ・設置方位を考慮し、太陽光の反射による時刻 別の影響範囲等を予測評価します。



04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



動物・植物の調査・予測の内容

✓調査内容：動物や植物の生息（生育）現在状況の把握



調査項目：哺乳類、鳥類（希少猛禽類含む）、
爬虫類、両生類、昆虫類、魚類、
底生動物、陸生植物

調査期間：春季、夏季、秋季、冬季

（陸生植物は、平成26年、28年、30年に植物相
調査、平成28年、30年に植生調査を実施済）

✓予測内容：動植物の重要な種及び注目すべき生息・生育地への 影響



※重要な種の確認位置や注目すべき生息・生育地と、事業計画
の重ね合わせ及び事例の引用・解析により予測

04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



○動物、植物、生態系

04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



生態系の調査・予測の内容

✓調査内容：現在の生態系注目種の生息環境（生息数や餌の量など）



調査項目：注目種の生息状況及びその餌資源（哺乳類、鳥類、
昆虫、植物等）の調査、分析等

調査期間：春季、夏季、秋季、冬季

✓予測内容：工事中や施設完成（稼働）後の生息環境の変化

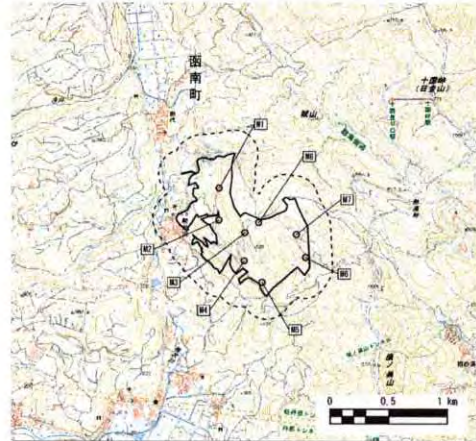


※動物・植物調査の結果も踏まえ、生態系注目種の生息環境の
変化を予測

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



動物の調査地点（哺乳類の例）



<凡例>

- : 捕獲・自動撮影地点
- : 調査範囲

トラップ調査(小型哺乳類)



踏査による観察・採集調査、およびトラップによる捕獲調査等を実施

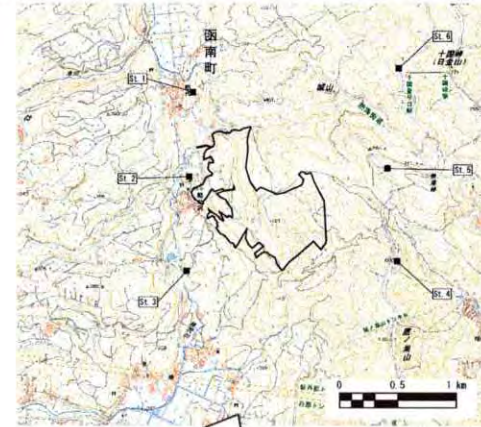
53

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



動物の調査地点（希少猛禽類調査の例）



<凡例>

- : 希少猛禽類 調査地点

対象事業実施区域及びその周囲の定点で実施



飛行状況調査

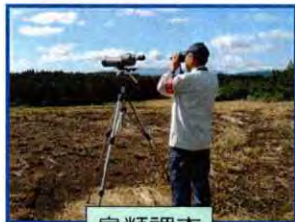
54

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



動植物の調査（鳥類、昆虫類、植物など）



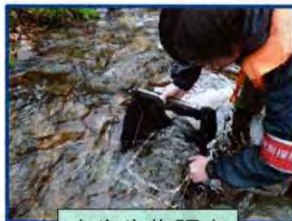
鳥類調査



昆虫類調査



トラップ調査(昆虫類)



水生生物調査



植物調査

○景観

55

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、調査・予測、評価の手法の概要



56

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



景観の調査・予測の内容

- ✓ 調査内容：現在の景観写真撮影



※主要な眺望地点（不特定多数の人が集まる場所）、
住居地域から撮影します。
※調査は晴天日に実施します。

- ✓ 予測内容：フォトモンタージュの作成

使用するソーラーパネルの配置を元に、調査地点に
おけるフォトモンタージュ（合成写真）を作成し、
施設完成後にその場所からの見え方を予測



フォトモンタージュ
(サンプル)

57

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



○廃棄物（産業廃棄物・残土）

59

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



景観の調査地点



<凡例>

- ：景観調査地点
- ：可視領域

対象事業実施区域周囲の
主要な眺望点や、地元
にとって身近な地点を含む
計9地点で調査

※可視領域は、樹木や建物は考慮さ
れていないため、実際にソーラーパ
ネルが視認される範囲はより狭くな
る



58

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

04 環境影響評価項目の選定、 調査・予測、評価の手法の概要



廃棄物等（産業廃棄物・残土）の調査・予測の内容

- ✓予測内容：工事の実施に伴い発生する廃棄物
(コンクリートがら、木くず、金属くずなど)
及び残土の発生量を予測



※事前の現地調査は実施いたしません。

- ✓予測内容：事業終了後に発生する廃棄物
廃棄するソーラーパネルなどの発生量・有効利
用量を予測する。



※事前の現地調査は実施いたしません。

60

©2020 Blue Capital Management Co., Ltd.

評価の手法

評価項目に関する調査及び予測の結果をもとに、以下の点を考慮して評価を行います。

- 環境への影響が、実行可能な範囲内で、できる限り回避・低減されていること。また、環境保全について適正な配慮がなされていること。
- 環境保全上の基準や目標がある場合には、それらとの整合が図られていること。

方法書縦覧の扱いとその後の対応について



* 縦覧場所

- ・静岡県くらし・環境部環境局生活環境課
- ・函南町役場一階ロビー内
- ・函南町農村環境改善センター
- ・インターネット（電子縦覧）
<http://www.bcm-co.jp/news.php>

* 縦覧期間

令和2年12月15日（火）
～令和3年1月21日（木）

開庁時間内

* 意見募集期間

令和2年12月15日（火）
～令和3年2月4日（木）
当日消印有効

意見書

アセス図書を閲覧頂いた住民の方に
環境の保全に関するご意見を記入
頂くための書面

意見書箱
意見書を投函して頂くためのBOX

「お知らせ」
アセス図書及び意見書、問合せ先等
に関してご説明する書面



アセス図書（方法書）及び要約書
縦覧用に1冊ずつ計2冊設置



Blue Capital Management

方法書縦覧の扱いとその後の対応について



意見書の提出について

「環境影響評価方法書」について、環境の保全の見地からご意見をお持ちの方は、縦覧場所に備え付けの用紙に記入の上、意見書箱にご投函頂くか、弊社宛にご郵送ください。

○記載事項

住所、氏名、意見（意見の理由を含む）

○提出期限

令和2年12月15日（火）～令和3年2月4日（木）まで（当日消印有効）

○提出先

〒107-0052

東京都港区赤坂2丁目16番19号 株式会社ブルーキャピタルマネジメント
BluePower函南太陽光発電事業担当 宛